

第8回 学校づくり運営部会 報告書

日時 平成30年1月29日(月)19:05~21:10

会場 守門公民館 3階 多目的ホール

所属・役職	氏名	出欠	所属・役職	氏名	出欠
守門地区区長会	大塚 明	欠	入中保護者	星 朗	欠
入広瀬コミ協	栲沢 一彦	○	守中保護者	浅井 景介	欠
須原小PTA	大塚 耕太	○	入中 校長	佐藤 栄策	○
入小6 学年委員長	佐藤 直幸	欠	守中 校長	山岸 力	○
入小保護者	穴沢 梢	○	事務局	早川 政宏	○
須小5 学年委員長	浅井 誠哉	欠	事務局	須佐 光行	○
須小4 学年委員長	小島 綾子	欠			

第8回学校づくり運営部会では、制服・体操着の選考要項案・情報提供依頼と部活動の種目絞り込みについて検討を行いました。結果については、以下のとおりです。

1 前回会議報告書の訂正

- 男子用制服の下衣について、小出高校や広神中学校は離れて見ると無地に見えるが、実際は細かいチェック柄となっている。報告書のうち「男子は無地を採用している例も多い」の部分で「男子は女子と同じチェック柄ではない例も多い」に訂正する。

2 制服・体操着等の選考に関すること

●選考要項案の修正点

◆エンブレムの有無について

○制服に名札は付けないものとし、エンブレムの採用についてはメーカーのセンスに任せることとした。

- ・広神中では名札を付けるためエンブレムは無しにしている。
- ・入広瀬中では顔見知りばかりなので名札は着用していない。
- ・守門中は現在、制服と体操着に名札を縫い付けており、3個セット600円で販売されている。入広瀬中と同様に顔見知りばかりなので今後廃止の方向としたい。

◆内側に着用する白ワイシャツ

○白ワイシャツは汎用品とするので見積は不要とする。

○要項4ページ制服仕様のデザインの項目中「白ワイシャツ」は「白ワイシャツ（汎用品）」と説明書きを加える。

◆展示会の日程について

○第1会場（入広瀬中学校）の陳列・展示を7月25日の8時~10時に変更する。

- ・24日は終業式を実施しており、教室の使用不可

○第2会場（守門公民館）のメーカー説明会を7月28日の18時~21時に変更する。

- ・第1会場と同じ3時間とする

◆展示会の会場について

- 第1会場（入広瀬中学校）は、展示会は1室で、メーカー説明会当日は3室借用して実施する。
- 第2会場（守門公民館）は多目的室を使用し、1室で展示会、メーカー説明会を実施する。

◆投票方法について

- 鍵のかかる投票箱を選挙管理委員会などから借用し、入広瀬中学校教務室及び北部振興事務所窓口に設置する。
- メーカー説明会当日は、当番の職員を常駐させることとし、展示会・説明会会場にも投票箱を設置する。
- 展示会場に足を運べない保護者のため、2学期の始業式当日まで学校でも投票を受け付けるものとする。
- 投票は記名式とする。

●情報提供依頼について

◆実施要領の修正点について

- 「あればご教示ください。」を「ありますか。」に表記を統一
- 「卸価格での提示が可能かどうか」については削除
- 現状では採寸を2月に行い、3月の卒業式までに制服が手元に届くようにしている。
IV採用サンプル決定後について、採寸～手元に届くまでの期間についても確認が必要。

◆情報提供依頼の取扱いについて

- メーカー3社に依頼し、2月末までに回答をいただく。
- メーカーの提案・意見を反映させた選定要項を3月の全体会後の専門部会で審議・決定し、4月の総会に提案予定。

3 部活動の設置に関すること

前回の専門部会で陸上・スキー部、卓球部、吹奏楽部の3つを存続し、柔道部は廃止の方針を確認。残る1種目についてどれを残すか検討を行いました。

●検討の結果、残る1種目については、剣道部を存続する方針とする。

◆理由

- ・男女共通の種目であり、男子・女子それぞれの選択の幅が保てること。
- ・部員数が少なくなっても個人戦での出場が可能であること。
- ・柔道部を廃止する方向であることから武道系の種目を1つは残すべき。
- ・入広瀬中から1種目（剣道）、守門中から2種目（卓球、吹奏楽）、共通1種目（陸上・スキー）となり、バランスがとれる。
- ・バスケットボール、バレーボールを廃止するので、体育館を使用して練習が可能。

◆バスケットボール男子廃止の理由

- ・団体競技であり、大会だけでなく普段の練習にも部員を維持・確保するのが困難。

- ・男子のみの種目であること。女子部を新設した場合、女子の人数が減少傾向にある中で部の存続は困難。

◆バレーボール女子廃止の理由

- ・団体競技であり、大会だけでなく普段の練習にも部員を維持・確保するのが困難。
- ・女子の人数が減少傾向にある中で部の存続は困難。
- ・他校でも男子バレー部は少なくなっていることから、男子部を新設するにはハードルが高い。

◆ソフトテニス女子廃止の理由

- ・女子の人数が減少傾向にある中で部の存続は困難。
- ・他校でも男子テニス部は少なくなっていることから、男子部を新設するにはハードルが高い。
- ・団体戦に出場するにも人数が不足し、個人戦もダブルス戦なので部員が奇数になった場合、出場できない子がでてしまう。
- ・卓球部を存続する方針としたことから、ラケットを使った球技を2種目存続するのはバランスがとれない。
- ・卓球部を男子のみにすれば存続可能かもしれないが、選択できる種目が男子3つ、女子3つになってしまう。

4 次回会議について

全体会終了後 平成30年3月15日（木）19:00～ 守門公民館多目的ホール